

俗に走らず

梅野記念絵画館 館長 佐藤 修

以下は、梅野隆さんが小出三郎を論じた文章の導入部である。

「いつも思っていることだが、私は具象画でも、半抽象画でも、抽象画でも好き嫌いは全く無い。画家が自分の心の詩を画布に塗り込め、心のメッセージを送っているものが好きなのだ。描写、表現方法、構成の良し悪しなど、心の詩をじかに感じた後の褒め言葉に過ぎないと思っている。但し、後者も相応にうまくなければ、観者に作者が願った心の詩を伝え得ないことも事実なのであるが…」と前置きした上で、小出の裸婦について、「大胆な構図、流麗な筆致であるが決して俗に走らず、裸婦が存在感をもって活写されている」と賞賛する。

次は、その小出作品のコレクター子の小出評である。

「戦後、海外の動向に狂奔した画壇の中にあつて、時流に関係なく、また時として時流に背くが如く、自らの表現を求め続けた作家」とSさんは位置づけ、「裸婦であっても、農家であっても、花であっても、澄んだ詩情に溢れているし、音楽が聞こえてくる。何を描いてもこのように感じさせるのは作家が自己を凝視し、己の精神空間の表現に真正面から取り組んでいるからではないか」と評するのはMさん。

冒頭の梅野さんの筆先は、小出から吉岡憲に及び、「共に好きな作家であり、吉岡の人物画、特に裸婦を手に入れた」と告白する。

梅野さんの遺したこの言葉が今回の展覧会を企てる端緒となった。共に独立美術協会を舞台にし、重厚な色調でゆるぎない存在感を放っていた小出三郎と吉岡憲。二人展として両者の作が競うように並ぶのはかつてないこと。吉岡と親交のあった大久保泰は、吉岡の自殺について「抽象絵画こそ絵の本質で、それ以外は絵ではない」と美術評論家やマスコミが吹聴した時代の犠牲になった、と語っていたという。

と俯瞰してみると、この二人の作家に共通して流れる気質が窺い知れるのではないかと。ご高覧を願う。

2017年展覧会スケジュール

変更となる場合もございます。

	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
大展示室	第17回 私の愛する一点展 10/1迄	信濃芸術祭期間	吉岡憲 VS 小出三郎 10/15~1/14			取藏品管理のため休館	フェルディナンド・ホドラー 2/15~3/31			2018年未定		
ふれあい館	天空の芸術祭 9/30~10/31		ジル・サクシク展 11/5~1/14				市民ギャラリー 2/15~3/31					

2017年イベントスケジュール

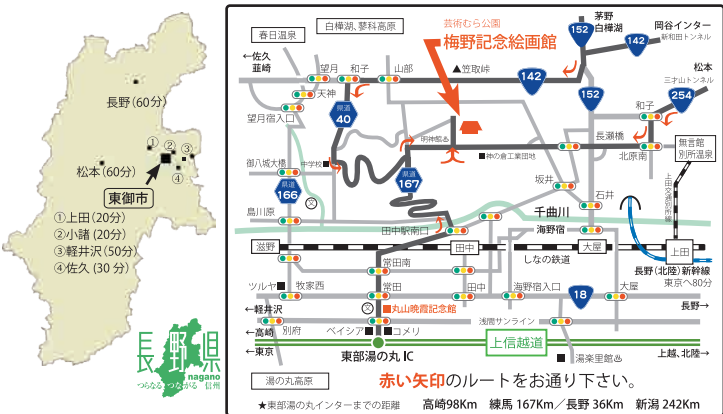
- 9月30日(土)~10月1日(日) 火のアートフェスティバル
- 10月22日(日) 講演会 『吉岡憲・小出三郎を語る』 13:30~
- 11月12日(日) シャンソンコンサート (要予約) 13:30~
- 12月3日(日) 年賀状をかこう~絵手紙教室~ (要予約) 13:30~
- 12月9日(土)~10日(日) アートツアー:群馬県近代美術館方面 (要予約)

施設情報、開館案内

東御市梅野記念絵画館 <http://www.umenokinen.com/>
 〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1
 TEL0268-61-6161 FAX0268-61-6162 umenokinen@ueda.ne.jp
 開館時間 午前9時~午後5時(4時30分迄にご入館ください)
 入館料 800円(高校生以上)団体割引700円(15名以上)
 身障者割引、学校利用減免、減額制度もあります。
 休館日 10月16、23、30日 11月6、13、20、24、27日 12月4、11、18日 1月9日 冬期休暇 12月25日~1月4日

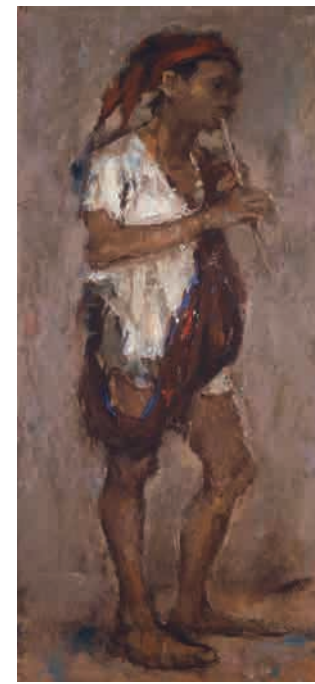
アクセス

- お車** 練馬ICから2.5時間
- 鉄道** 東京から最速2時間
しなの鉄道「田中」下車、タクシー15分
- ◆関東、北陸方面から
上信越道東部湯の丸インターから15分
- ◆関東、北陸方面から
北陸新幹線「上田」で、しなの鉄道乗換、田中下車。
- ◆中部、関西方面から
長野道岡谷インターから新和田トンネル、R142号経由で約1時間
- ◆中部、関西方面から
特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換、田中下車



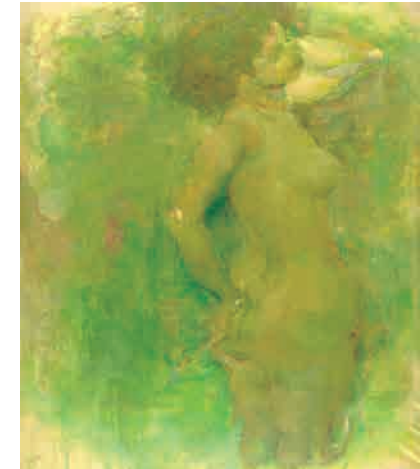
地域の情報をラジオで発信!
エフエムとうみ 78.5MHz

リクエスト、メッセージは
m@fomtomi785.jp



独立美術協会

東の雄 **吉岡 憲**
 VS
 西の雄 **小出三郎**



2017年
 10月15日(日)
 ↓
 2018年
 1月14日(日)

梅野
 記念
 絵画館
 www.umenokinen.com

*会期中一部展示替えがあります

10月22日(日) 吉岡憲・小出三郎を語る
 (窪島誠一郎・吉岡愛子・三浦徹・小出君子)
 13:30~ (要予約 定員120名)

〒389-0406 長野県東御市八重原935-1 TEL.0268-61-6161 FAX0268-61-6162

注 ・梅野さんの論評 平成27年7月「藝林月報」第63号 「美を拾う」
 ・Sさんの評文 平成18年「第6回私の愛する一点展」ページ
 ・Mさんの評文 平成23年「第11回私の愛する一点展」図録32ページ
 ・大久保泰の言葉 平成14年「第2回私の愛する一点展」図録11ページ

吉岡 憲

1915年東京府北多摩郡に長男として生まれ、画家を志し、川端画学校で藤島武二に師事する。1935年渡仏目的で日本を出るがハルビンに滞在し、ウラジミール専門学校に学ぶ。1941年第12回独立美術協会に初入選。1948年第16回独立展に出品し、会員となる。1956年電車で飛び込み自殺する。享年41歳。



吉岡 憲 煮物



吉岡 憲 婦人像



吉岡 憲 婦人像



吉岡 憲 漁村



吉岡 憲 母子



小出三郎 人



小出三郎 木の根



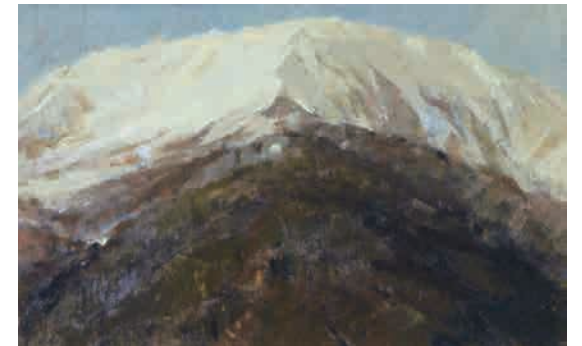
小出三郎 裸婦

小出三郎

1908年大阪市に小出一也の3男として生まれる。大阪信濃橋洋画研究所で小出楯重の指導を受ける。第2回独立展に初入選。以後32回まで第8,9回を除き出品を続ける。1947年独立美術協会会員となる。1956年田中佐一郎らと「いちい会」開催。1967年9月死去。享年59歳。



小出三郎 赤いドレス



小出三郎 伊吹山の雪